

核融合科学研究所オープンキャンパス2017 「体感！体験！プラズマエネルギー」

高 畑 一 也

10月28日（土）に、恒例のオープンキャンパス（一般公開）を開催しました。オープンキャンパスは、プラズマや核融合の研究内容や成果を、幅広い年齢層の方々に理解していただくため、1998年から毎年開催し、今回で20回目になります。「体感！体験！プラズマエネルギー」のテーマのとおり、楽しんで科学に触れることができる体験型イベントです。職員が毎回アイデアを出し合って、自ら製作した科学実験などを企画するため、通常の科学館では見られない展示をご覧いた



スーパーコンピュータの公開風景

だけます。もちろん、施設の一般公開として、ドラマの撮影にも使われた制御室、普段は見るできないスーパーコンピュータも間近でご覧いただきました。当日は雨が降ったりやんだりの一日でしたが、1,500名の方が来場されました。あいにくの雨の中、お越しいただいた来場者の皆さまに感謝いたします。

今回のオープンキャンパスから、世界最大級の超伝導プラズマ実験装置である大型ヘリカル装置（LHD）の見学は、室内が管理区域に設定されたため、事前申込制となりました。また応募多数のため、抽選となりました。この情報が広く行き渡っておらず、当日残念に思われた来場者もいらっしゃったようです。次回は、広報をしっかりとし、より多くの方に見ていただけるよう努力いたします。

さて、テーマに「体験！」とあるように、オープンキャンパスでは、様々な体験型イベントを開催しました。中でも工作教室は最も人気がある企画で、今回は振動ロボット、セラミック折り紙、セラミックプレート、LHD型分光器の4種類の工作教室を開催しました。今回から抽選制の企画を



工作教室で振動ロボットを作っている様子



磁気浮上列車を操縦する子どもたち

減らし、より多くの方に体験いただけるように工夫しました。ほかにも「体感！」することができる展示物を数多くご覧いただきました。ここでは一部しか紹介できませんが、プラズマボール、核融合炉運転シミュレータ、バーチャルリアリティLHD、放射線測定体験、形状記憶合金、不思議な液体、磁気浮上列車、ペットボトルロケット、空気砲などです。実際に実験器具に触ることにより、より科学を身近に感じていただけたと思います。

職員によるエネルギーや核融合に関する講演会も、例年人気を集めている企画です。今回は、土屋隼人助教による「核融合エネルギー教室～エネルギーをつくろう～」、森崎友宏教授による「核融合科学のすすめ」の2部構成の講演会を開催しました。どちらも会場が満員となる100名近い方に聴講いただき、講演の後も、盛んに質問が出て



科学実験を交えた講演会の様子

いました。

今年のオープンキャンパスでお披露目となったのが、研究所の新しいマスコットキャラクター「ヘリカちゃん」です。今年は、プラズマくんや地域のキャラクターたちと来場者をお迎えしました。これからもイベント等で登場するヘリカちゃんをよろしくお願いいたします。



手前からヘリカちゃん、プラズマくん、志野田茶太郎、ミナモ、うながつば

今年、イベントの配置が全面的に変更になったことから、来場者の皆様にご不便をおかけしたかもしれません。皆様からいただいたご意見を参考に、実行委員会で見直しを行い、来年は、より密度の濃い、分かりやすい展示、公開を企画いたしますので、皆さまのお越しをお待ちしています。

(装置工学・応用物理研究系 教授
／オープンキャンパス2017実行委員会委員長)